広野原

水戸市立飯富小学校
学校だより　第24号
平成26年12月24日

第2学期を振り返って

昨年度の蒸し暑さをあまり感じずにスムーズにスタートした２学期でした。１２月に入ってからは爆弾低気圧の影響が日本全国を駆け巡りましたが，ここ水戸市ではそれほど心配することもなく恵まれた例年どおりの寒さの中，第２学期の終業式を迎えました。子供たちはいろいろな行事を通して様々な体験をし，心も体もひと回り大きくなった２学期だったと思います。特に６年生は陸上記録会に向けて毎日辛抱強く練習を積み重ね，記録会当日には力を出し切って達成感を味わった子が多かったと思います。また持久走大会では６年生ばかりではなく，全学年の児童が自分への挑戦を果たし，全員が完走できたことを頼もしく思いました。がんばればがんばった分の結果がついてくるものと実感したことでしょう。さらに，宿泊学習，遠足，社会科見学，ばんだい祭り，人権集会や音楽朝会での発表などの様々な機会を通して視野を広めたり，友達の良さに触れ，学級の一員としての自覚や絆も強くなったりしたことと思います。。

次に本年度の４つの重点目標について２学期の状況を報告いたします。

（1）児童が主体となる学習や諸活動の充実を図り，自ら考える力を育てる。

・各学級では，児童自身が何を学ぶための学習なのかを把握できるよう，本時の目標をはっきりと黒板に書き，児童が自分のめあてや考えをもてるようにしてきました。
・学年の発達段階に応じたノート指導を進め，自分の考えをしっかり書き込みながら工夫したノート作りができるようにしてきました。
・学級活動や高学年の委員会活動では，児童の発想を生かし，児童が意欲のわく活動を工夫してきました。
・集会活動では司会や進行などを児童に任せ，達成感や自己有用感がもてるようにしてきました。

（2）本年度の研究テーマに基づいた教育実践を積み重ね，学力の向上につなげる。

・１学期に実施しなかった学級による算数科の研究授業を２回行いました。市の指導主事を招いて，授業の改善点や今後の算数指導の在り方などの指導をいただきました。

・研究では，児童の考えがひらめくような導入の工夫に焦点を当てた授業展開を考えてきました。自分の考えをしっかりともった上で友達と考えを話し合い深めることができるような児童の姿を求めてきました。１月に実施する学力診断のためのテスト（３年生以上実施）で表れる結果が楽しみです。
・研究結果は論文にまとめて水戸市教育会に提出します。

（3）場に応じた挨拶や礼儀を通して，相手を思いやる心を育てる。

・藤が原から来る遅バスのグループは，バスの運転手さんに「ありがとうございました。」の挨拶をして下車する子が増えてきました。
・登校指導の保護者の方の記録を見ますと，徒歩で登校する児童の挨拶の声が小さいのが気になるという記述が多く見られました。学校では元気に挨拶できても，校外でできない児童がいるということなので，いつでもどこでも知っている方を見かけたら，元気な挨拶ができるよう指導を続けていきたいと思います。
・横断歩道の手前で停車して横断させてくれる運転手さんに，しっかりとお辞儀をして感謝の気持ちを表す児童の姿も見られました。

（4）学校を大切にし，誇りに思う心が育つような活動の充実を図る。

・清掃活動に熱心に取り組む児童が増え，汚れている所を見つけてはきれいにしようと工夫して掃除しています。トイレや廊下ががきれいになってきました。
・毎月１回愛校作業を実施しています。学年ごとに花壇の手入れや整備，花苗植え，落葉集めなどを行ってきました。
・今年度の学校組織目標である「すっきりとしてうるおいのある学校づくり」に委員会活動でも取り組みました。体育委員会では体育倉庫を整理整頓しました。環境福祉委員会では昇降口の清掃に力を入れました。

２学期の教育活動につきましても保護者の皆様には多大なご協力・ご支援をいただき，大変ありがとうございました。どうぞご家族揃って健康で良い新年をお迎えください。来年も宜しくお願いいたします。